

第101回運営委員会概要 4月20日(水) 18:30~21:00

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 研修室
  - ◆出席委員：新野・川口・久我・佐藤・高橋(武)・武本・前田・牧委員・・・8名
  - ◆オブザーバー：保安院/竹本所長・岡野副所長・熊谷検査官 エネ庁/七部所長  
東電/長野副所長・西田技術担当・森 GM
  - ◆事務局：広報センター/井口事務局長 石黒主事
- 

視点48号(第93回定例会分)について

- ・挿入性確認試験の内容と質疑応答、7号機のひび割れと質疑応答と2つの項目にまとめて見出しを新しくつける。
- ・視点の「みんなのひろば」に2名の投稿者があり、原稿を委員で確認。
- ・投稿者に連絡をして記載の確認をするとともに原稿を短くまとめていただくよう事務局から依頼する。
- ・事務局案を更に校正して校了。

委員改選の報告及び次期役員の見直しについて

- ・第5期は11名の委員が新たに加わる。うち1名は後任が未定。留任を含め委員は全員で25名。
- ・会長、副会長、運営委員も任期満了に伴い新たに選出する。次回5月定例会時、互選により選出予定。

次回以降定例会内容について

○5月定例会(5月11日)内容について

- 〈会長〉第5期となる最初の定例会。広報センター理事長である柏崎市長から委員への委嘱状授与、挨拶など盛りだくさん。福島第一原子力発電所の問題もある中でどのような定例会内容とするか。
- 〈委員〉事情を考慮し、会議の時間を通例の19時から18時半に早めたほうがよい。  
(委員 賛成)
- 〈委員〉理事長(市長)、理事(村長)の挨拶の時間をある程度決めてお願いしてはどうか。
- 〈委員〉期の最初の会議であるから自己紹介を兼ねた委員の意見を尊重するために事業者や国、行政の挨拶は委員挨拶の後にしてはどうか。
- 〈委員〉期の最初であるから、委員への委嘱状授与式、挨拶を中心とした前半と後半部分を福島第一原子力発電所の問題をふまえた通常通りの会議の持ち方にしてはどうか。  
(委員 賛成)
- 〈会長〉後半部分の通常の会議では、東京電力、保安院、行政からの「前回以降の動き」はどのようにするか。
- 〈委員〉福島第一原子力発電所の状況が今後しばらく変わらないとすると、今までのような東京電力→保安院→行政→委員質問、意見のやり方を考え直す必要があるのではないか。
- 〈委員〉今一番重要で皆の関心があるのは福島第一原子力発電所の動き。その最新の情報を周知していくことは大切なことではないか。5月定例会については今までどおりの順番でいいのではないか。
- 〈委員〉福島第一原子力発電所の動きも大切だが、やはり会議の本筋は柏崎刈羽原子力発電所のことではないか。
- 〈委員〉今、福島第一原子力発電所のことは世界的なことになっている。それを抜きにし

---

てこちらの原子力発電所のことは語れない。  
〈東京電力〉「前回以降の動き」の中で、福島第一原子力発電所の現在の状況を報告しながら柏崎刈羽原子力発電所の内容を中心に説明を行いたい。  
〈保安院〉前回以降の保安院の動き、文科省の資料などを揃え報告したい。

**【決定事項】**

〈5月11日定例会・タイムスケジュール（案）〉

18：30～19：00	委員委嘱任命式、委員自己紹介、会長副会長の選出
19：00～19：30	市長、村長挨拶
19：30～20：10	前回からの動き（東京電力、保安院、行政）
20：15～21：15	委員意見を発表（一人2分）、質疑応答など
21：15～21：30	その他

**新委員の顔合わせ等の実施検討について**

・日程を調整し5月以降実施